

伊勢湾台風から55年！  
河川・砂防・港湾・道路が連携した大規模水防演習を開催  
平成26年度 木曾三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練

## 1. 概要：

前線が停滞し、広い範囲で降雨が降り続けていることに加え、過去に日本を襲った最大級の台風が接近しているという想定のもと、地元消防団等による堤防の被災に対応するための水防工法の実技をはじめ、洪水・高潮・土砂災害という3つの事象に対し、河川・砂防・港湾・道路が相互に連携するとともに、多数の関係自治体、防災機関、地域の皆様の参加による各参加機関が連携した実働訓練を実施します。

## 2. 日時：

平成26年5月18日（日）9：00～12：00 ※小雨決行

## 3. 場所：

- 【メイン会場】三重県桑名市長島町押付地先  
（1級河川木曾川右岸 長島運動公園）  
【サテライト会場①】三重県四日市市霞地先  
（四日市港 霞ヶ浦南ふ頭）  
【サテライト会場②】三重県いなべ市藤原町市場  
（藤原文化センター）

## 4. 参加機関：

国土交通省中部地方整備局、三重県、愛知県、岐阜県、桑名市、いなべ市、木曾岬町、四日市港管理組合、国土地理院中部地方測量部、第四管区海上保安本部、陸上自衛隊第10師団、日本赤十字社三重県支部、三重県警察、市町消防団、他25機関  
予定参加者数：約2,000名

## 5. 事前説明会：

報道関係者のみなさまに、演習に関する説明会を下記のとおり行います。  
（日時）：平成26年5月15日（木） 13：30～  
（場所）：国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所

6. 演習中止時のお知らせ：

洪水や地震の発生などにより演習を中止する場合があります。  
当日は、演習の開催・中止について以下の方法でお知らせします。

<ラジオ放送によるお知らせ>

CBCラジオ（中部日本放送）にて当日5:59頃放送  
1053kHz（岐阜地域639kHz）

<ホームページによるお知らせ>

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>

7. 添付資料：

チラシ、会場案内図等（別添）

8. 同時配布：

中部地方整備局記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、  
岐阜県政記者クラブ、津島市政記者クラブ、桑名市政記者クラブ、  
大垣市政記者クラブ

問合せ先：

国土交通省中部地方整備局河川部水災害予報センター

Tel.052-685-5117

国土交通省中部地方整備局木曽川下流河川事務所

Tel.0594-24-5711

三重県県土整備部施設災害対策課

Tel.059-224-2683

日本最大のゼロメートル地帯  
昭和34年9月26日 伊勢湾台風による浸水状況 (木曾三川下流部)

伊勢湾台風から55年

# 平成26年度 木曾三川連合総合水防演習・ 広域連携防災訓練



防災ヘリ「まんなか号」(国交省)



機動支援橋(陸上自衛隊)



水防訓練(消防団)



海洋環境整備船「白龍」(国交省)

日時

平成26年  
**5/18**日

9:00~12:00 ※小雨決行

メイン会場

三重県桑名市長島町  
長島運動公園  
(木曾川右岸河川敷)

サテライト会場

- ① 三重県四日市市 四日市港 霞ヶ浦南ふ頭
- ② 三重県いなべ市 藤原文化センター

ご見学  
自由

◆主催:国土交通省中部地方整備局、三重県、愛知県、岐阜県、桑名市、いなべ市、木曾岬町、四日市港管理組合

お問合せは…国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所 TEL 0594-24-5715

# 会場図

● 演習当日、会場へのアクセスは現地係員の指示に従って下さい。



(木曾川右岸河川敷)  
東名阪自動車道 長島ICより車で約8分



(三重県いなべ市)  
国道306号線 文化センター交差点より車で約3分



(四日市市 霞ヶ浦南ふ頭)  
国道23号線、霞大橋より車で約2分

# プログラム

● 当日、悪天候等により中止する場合があります。

	メイン会場 (長島運動公園)	サテライト会場 (藤原文化センター)	サテライト会場 (四日市市港)
	開 会 式		
9:00~			
9:20~	演習開始の号令 演習想定を発表 気象情報提供 災害対策本部の設置 河川巡視・道路パトロール 水防準備(土のう拵え) ヘリによる土砂災害調査 防災エキスパートによる被災報告 水防工法 ●竹流し工 ●シート張り工 ●月の輪工 ●釜段工 ●土木研究所式釜段 ●杭打ち積み土のう工 ●積み土のう工 ●改良積み土のう工 ●三角水のう工	災害対策本部の設置 避難訓練  Ku-SATIIの設置	コンテナの流出防止 荷役機械の固定  水門の閉鎖
10:00~	TEC-FORCE派遣 道路啓開 決壊堤防の荒締切り 排水ポンプ車による排水作業 応急架橋 ヘリによる被害状況調査 避難訓練	ヘリによる土砂災害調査  テレビ会議  無人化施工バックホウによる土砂撤去 照明車設置作業 被災者救助 緊急物資の空輸	緊急物資の空輸  漂流者捜索・救助
11:00~	トリアージ 巡回(順次実施) 水防体験 MMS(移動計測車両による測量システム)による被災堤防計測 UAV(無人航空機)による被災堤防計測 漂流者救助・搬送 被災者搬送 緊急物資の空輸	UAV(無人航空機)による土砂災害現場偵察	被災状況調査 航路啓開 緊急物資の海上輸送
~12:00	閉 会 式		

# 展示・体験コーナー

会場では、ゲリラ豪雨や地震等の体験、災害対策車両や防災に関するパネル等の見学ができます。



ゲリラ豪雨体験



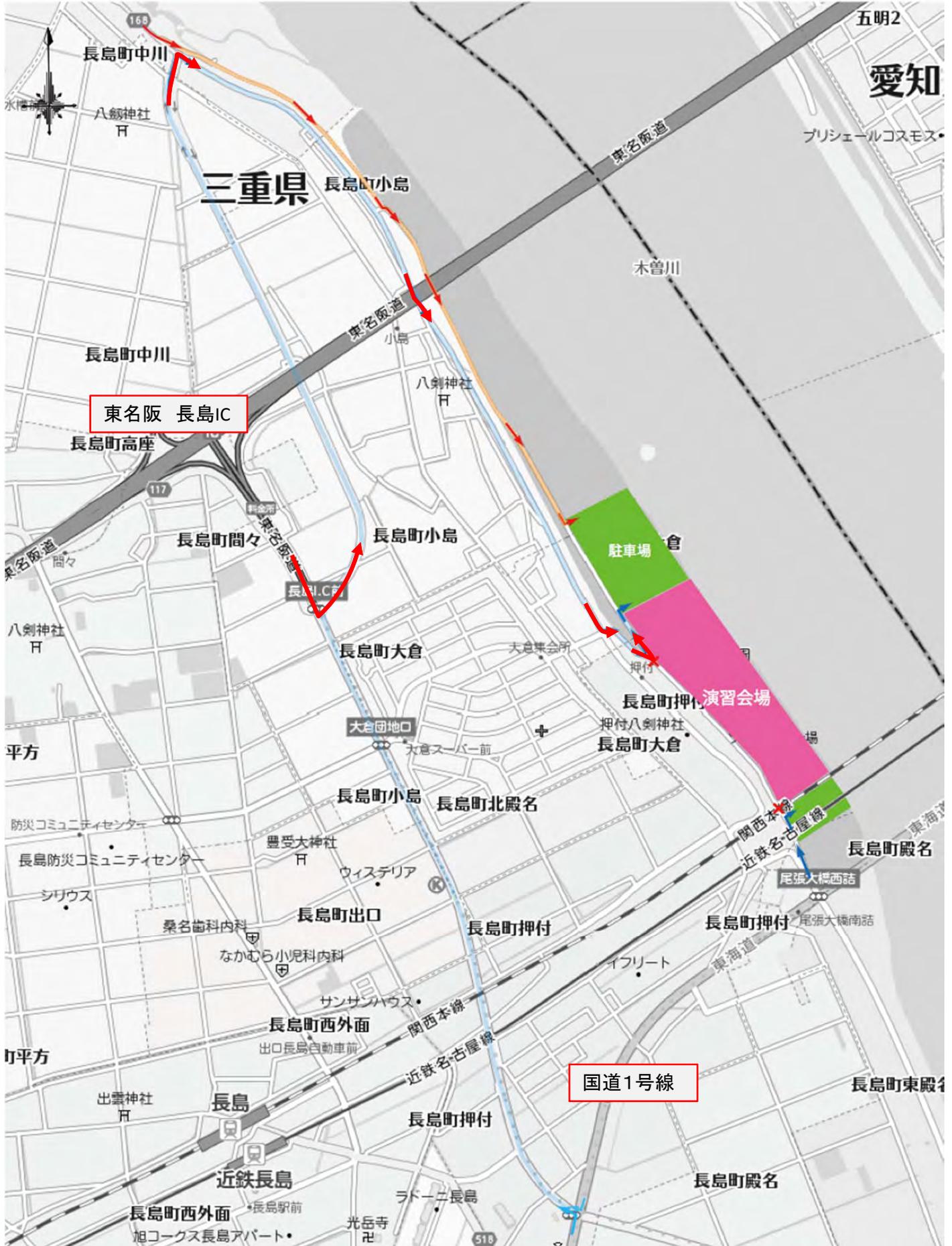
災害対策車両(災害対策本部車)



パネル展示

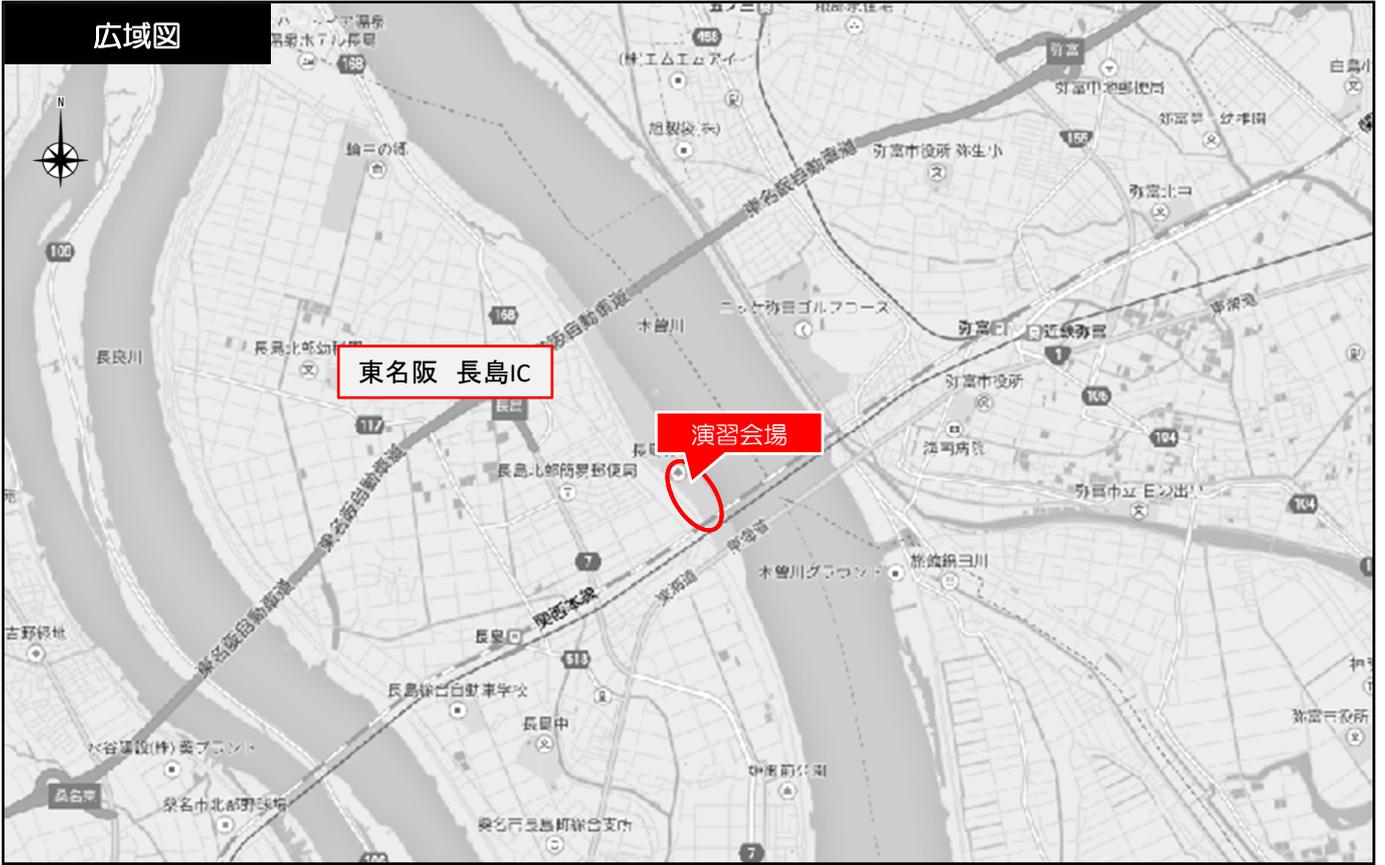


東名阪 長島ICからメイン会場までのルート図



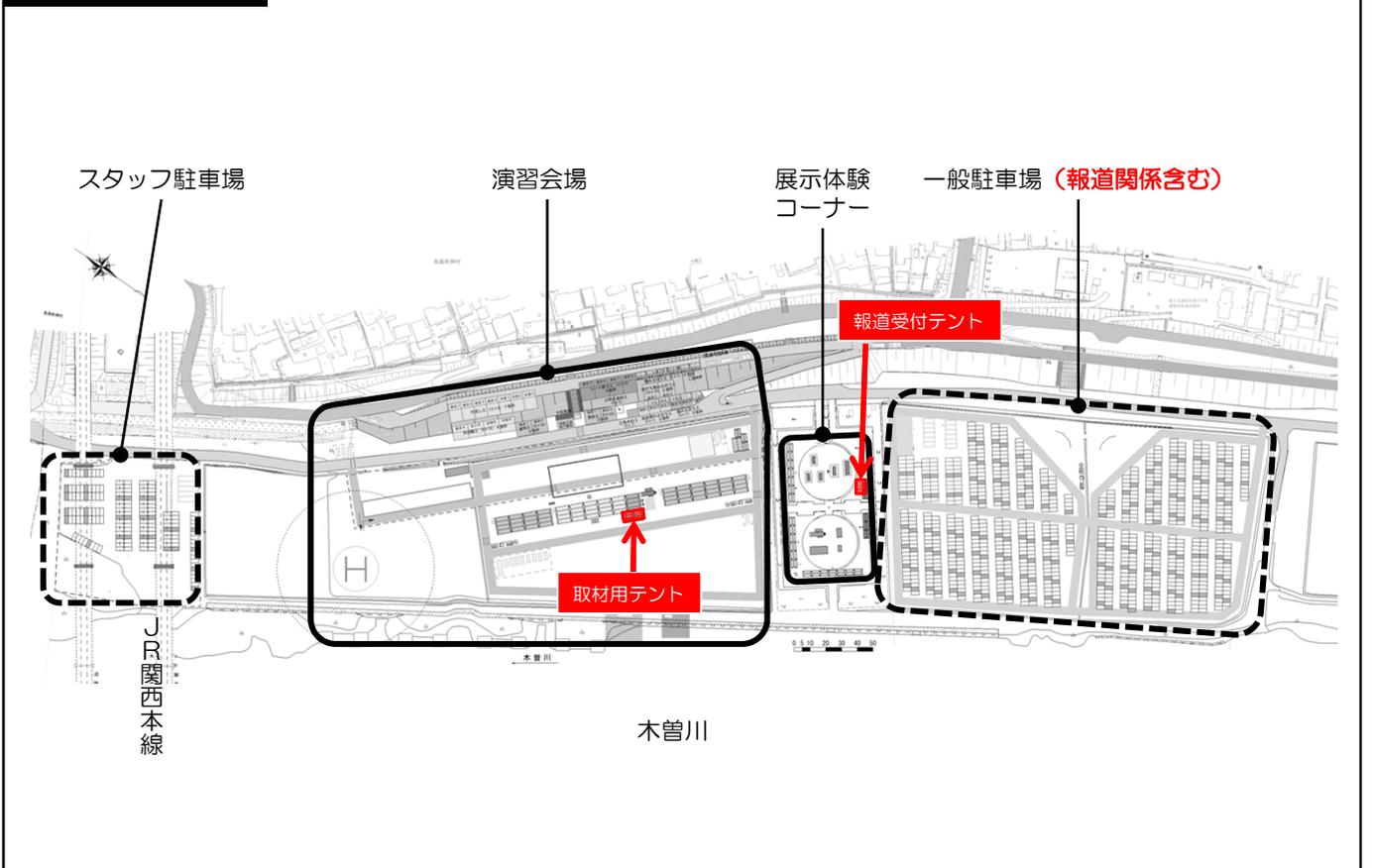
# メイン会場図

## 広域図

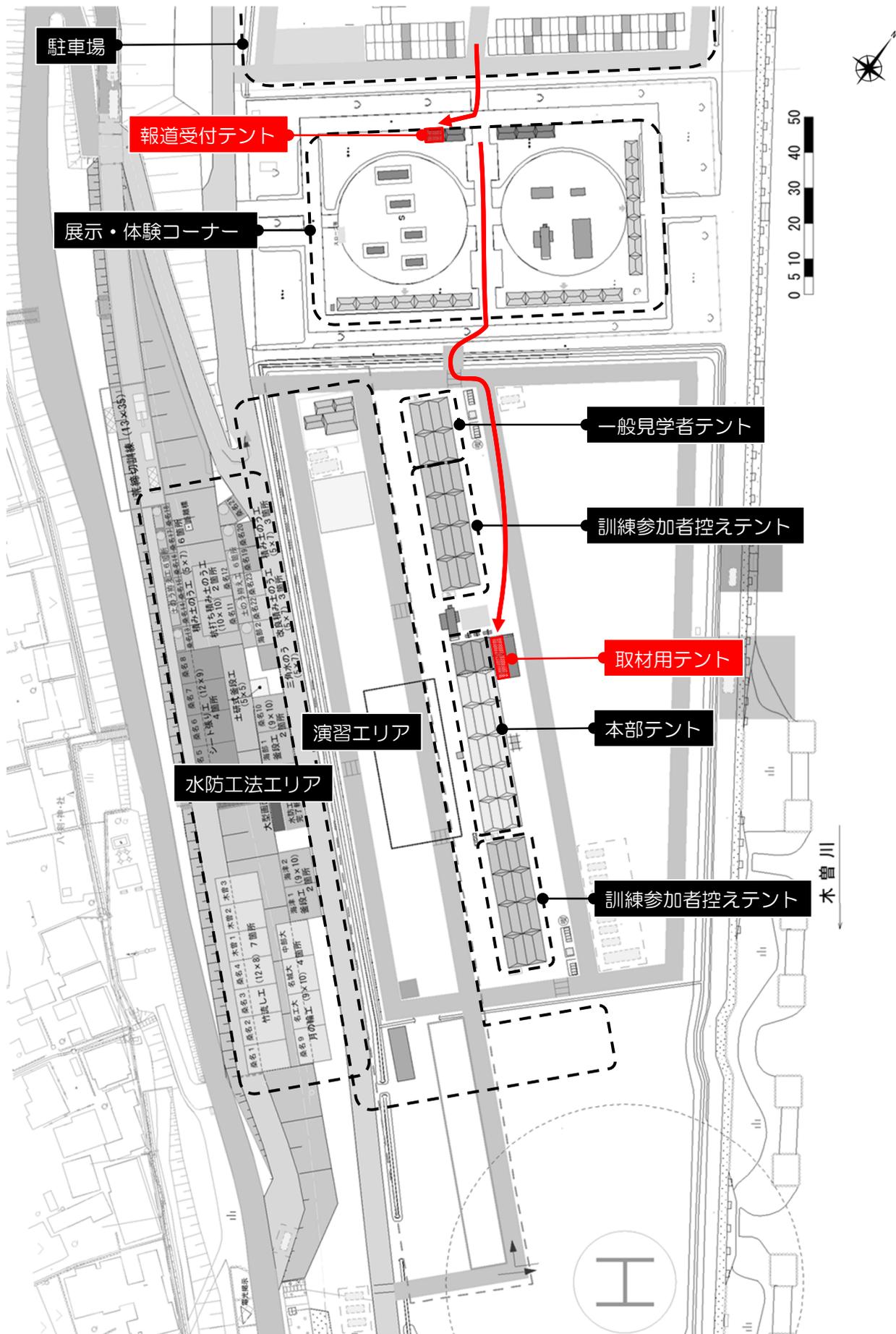


## 演習会場全体図

※上記広域図から時計回りに125°回転しています。



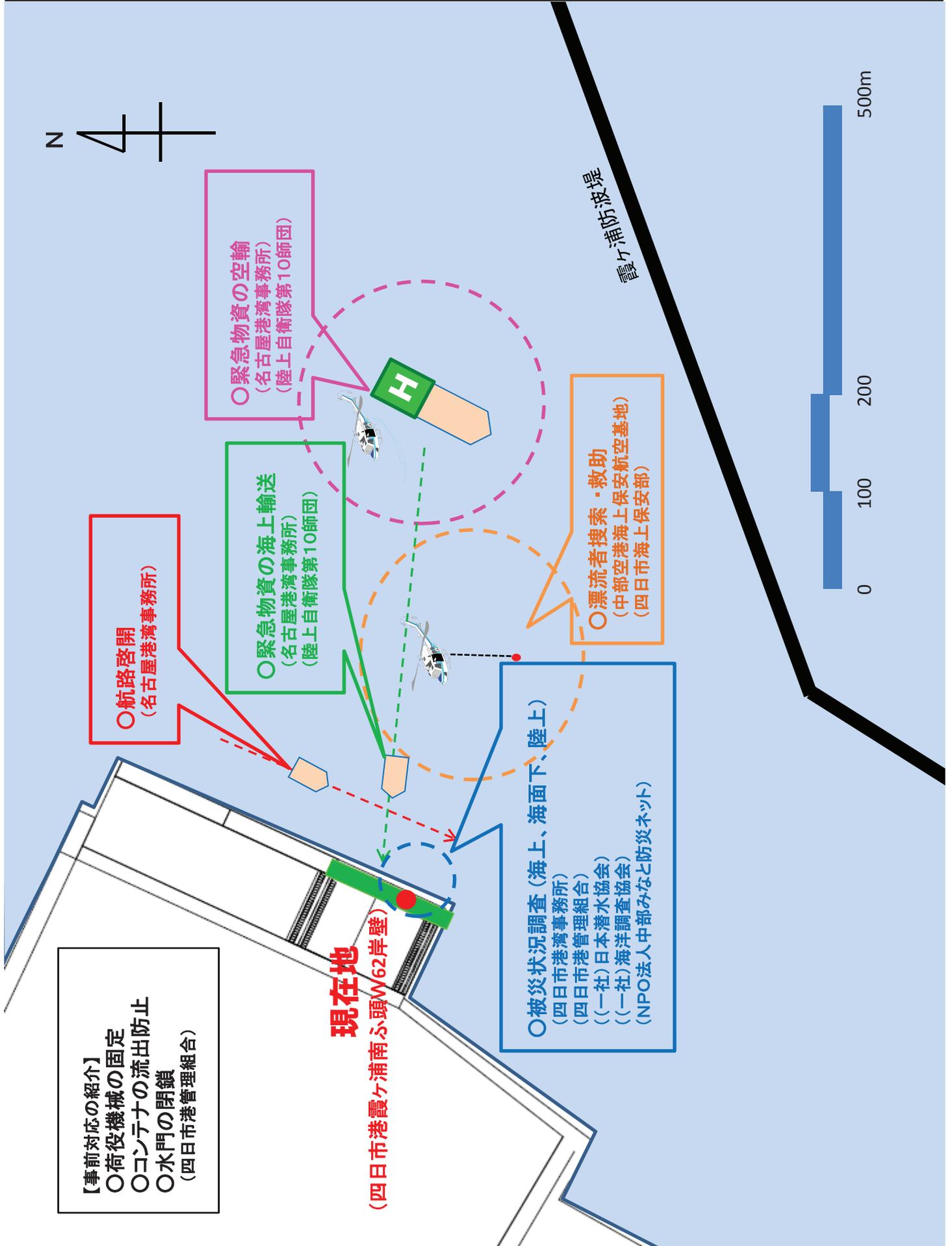
メイン会場 現地詳細図 (駐車場から報道受付テント、受付後から取材用テントまで)



# サテライト会場(四日市港)



◆サテライト会場(四日市港)の配置図



# サテライト会場(藤原文化センター)



◆ サテライト会場の現地詳細図 (報道受付テント、駐車位置)

